

土木学会 舗装工学委員会

平成 19 年度第 4 回幹事会, 第 5 回国際舗装技術交流小委員会 合同会議 議事録

日時：平成 19 年 11 月 2 日 16:00-17:30

会場：土木学会 会議室 F

出席：笠原 篤委員長, 阿部 長門, 岩井 茂雄, 遠藤 桂, 尾本 志展, 久保 和幸, 黒川 卓郎,
小梁川 雅, 姫野 賢治, 松井 邦人, 柳沼 宏始 (以上 11 名)

1. 研究事業課の担当の変更

土木学会研究事業課の片山課長と二瓶主事(今後の委員会担当)と 10 月 4 日に打ち合わせを行いました。

研究事業課は, 28 委員会, 260 小委員会を 8 名で事務をこなしているため, 今度の委員会担当の二瓶さんは 4 つの委員会事務担当で, 舗装工学を含めて 5 つ。各委員会の議事録や保管が必要な資料, 舗装工学委員会予算の支出など会計が絡む問題などは, 連絡窓口として笠原委員長か阿部幹事長で対応することとなった。

会議室の予約や小委員会の行事関連の連絡などは, 各小委員会の委員長や幹事長で二瓶主事と話を進めてください。

2. 日中舗装技術 WS の決算

- ・ 第 4 回日中舗装技術 WS の土木学会管理費(20%)は 187,200 円必要であるが, この第 4 回日中舗装技術 WS の残金は 61,974 円(納付済み)であった。このため, 土木学会管理費の不足分 125,226 円を舗装工学委員会の平成 19 年度予算からの支出することが, 承認された。(残金は 35 万円)

3. 社団法人の会計法の変更に伴う予算について

- ・ 環境と示方書の舗装に関する講習会は 45 万円の黒字であり, 12 月に開催される舗装工学講演会の行事に関しても, 土木学会管理費(20%)の確保と黒字化に関して依頼した。
- ・ 舗装工学委員会の 10 月末の予算残高は 35 万円です。今後, 小委員会の会議などで有料会議室の仕様や会議の飲み物など支出を伴う可能性がある場合は, 早めに申告してください。
- ・ また, 来年度の舗装工学委員会の活動度の評価は A ランクなので, 来年度の舗装工学委員会に関する調査研究費は 120 万円となります。今年度の行事が黒字の場合には, 次年度に黒字金額の 6 割が舗装工学委員会の調査研究費に追加となります。もし今年度の舗装工学委員会の行事予算が赤字の場合は, 来年度の委員会予算から今年度赤字分*1.2 倍が差し引かれるそうです。

このため, 次年度の活動費用(調査研究費)を増やすもしくは, 先生方の旅費を増やしたいということであれば, できるだけ委員会開催の行事を黒字化してくださいという依頼があった。

4. 第6回 ICPT に関する予算の考え方

案1. 土木学会を通して ICS 依頼パターン

国際会議と懇親会費用（早期 90,000 円，一般 100,000 円）を含め，120 名の出席で 1100 万円集めた場合，学会管理費を 220 万円以上払うことになり，学会名での領収書発行や出版などの事務関係の手配の依頼を行うことができます。（学会からの ICS コンベンションデザイン(JTB)との共同運営，この費用から ICS などの代理店の経費の拠出，明朗会計になる）

案2. 舗装工学委員会からの土木学会と ICS 依頼パターン

国際会議費用としては，早期 70,000 円，80,000 円とし，860 万円の収入に対して，172 万円が学会管理費になります。（代理店経費などを引いて，代理店からの入金を依頼したい。）
この場合，主催の名称のみで土木学会としては大々的に動けない。しかし，ICS などの業者に国際会議の委託するのであれば，自由度があるため，運営しやすいかもしれないということでした。

別紙に，ICS コンベンションデザインの 120 名に対する見積もりを示す。

- ・ 国際会議の受付など，東京からの派遣となっており，通訳経験者クラスとアルバイトで出張費と人件費をまとめると 49 万円程度必要。（北海道でのアルバイトを探せば半額になることも可能）
- ・ フルペーパーの受付，査読用登録など，70 万円
- ・ 論文集印刷 300 部で 360 万円（学会の出版事業課からの依頼で，安い出版社で依頼し 1000 頁程度を 200 万円程度の印刷依頼することが可能）

どのような方法で進めるか？

国際会議の参加費を懇親会込みで，早期 70,000 円程度にするならば，ICS 委託部分を減らし，土木学会のコネクションを最大限使うか？

この会議の共催に関して，独立行政法人港湾空港技術研究所と独立行政法人土木研究所寒地土木研究所の方に打診をしておりますが，共催金もしくは論文集の印刷代などの名目で 1,000,000 円(2 箇所から)程度お願いできるか？

後援となる NPO 法人舗装診断研究会などにも，後援会費の依頼をして，後援協賛金(500,000 円程度)を依頼するか？

現段階では，120 名で予算を絞り込んで進めることとし，道建協や各社には参加者の依頼をして，単価を下げていく方向で進めることとなった。